



のぞみ 希望

学校
ホームページは
こちら



学校ホームページアドレス <https://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/sugita/>

早咲きの梅と、受け継がれる桜

校長

本校のMDS金管バンドが、2月14日に妙法寺で開催された「杉田梅まつり2026」に参加しました。透き通った青空のもと、5・6年生の演奏が満開の梅が咲く境内に、そして歴史ある妙法寺の空気に溶け込むように響き渡りました。梅まつりスタッフの皆様、ご協力いただきました保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。



今年は梅の開花が例年より早く、校庭にも春の気配がいち早く訪れました。まだ寒さの残る2月のうちから花を咲かせる梅の姿に、「もう春がそこまで来ているのだ」と感じます。梅は厳しい冬の間に力を蓄え、わずかな春の訪れを感じて花を開きます。その姿は、この1年で大きく成長した子どもたちの姿と重なります。そうした確かな成長がはっきりと感じられるのが、この3月です。季節の歩みが早いように、子どもたちの成長もまた、私たちの想像以上に早いものです。

そして、梅のあとを追うように、まもなく桜の季節がやってきます。本校校舎北側には三本の桜があり、長年にわたり子どもたちの登下校を見守ってきました。昨年度の学校だよりでもお伝えしましたが、樹齢を重ねたことによる安全面への配慮から伐採を検討してまいりました。改めてPTAのご協力のもと



と樹木医による診断を依頼したところ、2本については伐採の必要はないとの判断を受け、先日、1本のみを伐採いたしました。これまで入学式や卒業式、そして日々の学校生活を見守ってきた桜は、他の二本にその役目を託し、切り株となりました。

しかし、その桜の命がここで終わるわけではありません。6年2組の子どもたちが「杉田の時間」に、伐採した桜の太い枝を使って、傘立てのクラス札を制作します。長い年月にわたり子どもたちを見守ってきた桜が、新たな形となって学校に残ります。梅が春の訪れを告げ、桜が新たな門出を彩るように、本校の子どもたちもそれぞれの春へと歩みを進めていきます。伐採された桜の命が形を変えて受け継がれるように、ここで培った学びや友情も、子どもたちの未来へと受け継がれていくことでしょう。

例年より早く咲いた梅が知らせてくれた春の始まり。その春は、子どもたちの新しい一歩とともに、確かに動き始めています。保護者・地域の皆様には、令和7年度も温かいご理解とご支援をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。今後とも、子どもたちの歩みを見守っていただきますようお願い申し上げます。

